

安住の地は当別  
人との出会い、仲間を大切に

五賀 利雄さん・隆子さんご夫婦

(太美北)



◆当別に移住したきっかけを  
教えてください

下関市での勤務を最後に定年退職し、どこに住めば楽しく幸せに暮らせるかを考えました。その結果、息子が生活している札幌市の近くで暮らせれば老後も安心と思い、北海道への移住を決意しましたが、このまちに住むかはとても悩みました。江別や長沼、小樽などたくさんの方々に足を運びましたが、最終的にたくさんの方々があって空気がおいしくてガーデニングや野菜づくりができる場所がいいと思い、当別への移住を決めました。現在は、畑を借りて自分たちが食べる野菜を作ったり、趣味のガーデニングをして有意義に生活を送っています。

◆地域にとけ込む秘訣は？

今までにたくさんの方と活動を繰り返して分かったことですが、新しい土地で楽しく生活するには、仲間が必要です。当別に来たときは、一人も知り合いがいりませんが、「かすみ草の会」や「共生ネット」「シラカンパの会」などに入会することで一緒に活動する仲間ができました。そのおかげで近所の人との付き合いも広がり、一緒に活動する人がガーデニングを見たいと言えば、車で迎えに行ったりもします。みなさんが暖かく迎えてくれたことに感謝しています。

◆楽しんで生活すること  
心がけているのです

去年の12月には、ふとみ保育所でサンタクロースをしました。子供たちの「本物のサンタさんが来た」と言って喜んだ表情を見るとやっけて良かったと思いました。この他にも、家の前に雪だるまやアイスキャンドルを作っていると、近所の子供たちが「今日は何時にろうそくを点けるの?」と寄ってくるようになりました。厳しい冬も雪を使って楽しめば、あつという間に過ぎていきます。移住してからたくさんの方と活動でき、趣味のガーデニングも思いっきりすることができました。今では、当別に来て本当に良かったと思っています。

あまの風景  
当別の風景

「もみじ」

緑町にて撮影

写真提供 中野 政幸さん(緑町)

